

ふくよし

福吉



福吉小学校校歌

一、朝だ光だ 浮岳映えて  
嶺は雲間に そびえてる  
おお その高さ その歴史  
僕等と共に 伸びるのだ  
教えの道を 求めつつ  
雄々しい希望 抱こうよ

二、昼だ誇りだ 福吉校だ  
松は白砂に カンでる  
おお その強さ その生命  
僕等も更に 伸びるのだ  
知恵の響きを きざみつつ  
尊い真理 学ぼうよ

DATA

●人口4,212人  
●男性1,979人、女性2,233人



砂の上を歩くと「キュッキュッ」と音がする鳴き砂。白砂青松という言葉がそのまま当てはまる海岸が「姉子の浜」です。およそ1km続く九州唯一の鳴き砂の浜辺は道の駅に隣接し、たくさんの観光客が美しい海岸を音で体感しています。この浜は、サーフィンなどを楽しむ若者たちにも人気のスポットです。

ふかえ

深江



深江小学校校歌

一、どろく玄海 おさまれば  
朝日にかがやく 二丈岳  
そのふところに抱かれて  
あなつかしの 深江校

二、つんざく潮風 堪えくれば  
緑栄えゆく 浜の松  
そのたくましき 修めきて  
見よ風の子の 深江校

DATA

●人口5,493人  
●男性2,537人、女性2,956人



深江校区には、多種多様なお祭りがあります。1月に開催される、山盛りのご飯を豪快に食べる「百々手祭」や7月の「川祭り」、10月の「深江神幸祭」のほか、12月に行われる松末五郎稲荷の「目隠し女相撲」はユーモラスな伝統行事です。

緑

の山、青い海、人は純朴「福吉」

福吉は、糸島地域の西端に位置し、姉子の浜や浮嶽、ホタルが飛び交う福吉川など自然が豊かに息づく地域。この地ではぐくまれる「人」は優しく純朴で、伝統文化をたいせつにします。

**海あり山ありの大自然**

旧二丈町の西に位置し、佐賀県唐津市と隣接するのが福吉校区です。

明治22年に鹿家と吉井、福井の3村が合併し、その中心だった福井村と吉井村の頭文字を取り、福吉村になりました。そのことから「福吉」の名前が定着しました。

北は玄界灘、南は脊振山系の山々に囲まれ、そこを水源とする加茂川や福吉川など5つの川が校区内を流れます。早春にはシロウオ、夏にはホタルなどの姿が見られます。栄養豊富な川の水が注ぐ海ではカキがよく育ち「福吉の一粒カキ」として有名です。また、9月上旬には、田んぼで古代米の「赤米」が色づくなど、自然が豊かに息づく地域です。

**文化と人の調和**

自然豊かな福吉の代表格は姉子の浜。玄界灘の荒波に洗

われれた約1kmの砂浜で、九州唯一の鳴き砂が楽しめます。

そこから南を望むと十坊山がそびえます。360度の眺望がきく山頂からの展望は絶景。隣にそびえる二丈最高峰の浮嶽(805m)など、日帰りのハイキングコースとしても好評です。

こうした自然に囲まれて育つ福吉の人たちは、純朴で温厚。何事にも協力的で、体育祭や文化祭、マラソン大会は毎年大にぎわい。また、伝統文化を重んじます。

伝統文化といえば、1月と5月、福井白山神社では、古事記神話を基にした福井神楽が舞われます。保存会があり、若者への継承活動も行われています。

福吉に残る伝説

- 福吉校区には、言い伝えや民話がたくさんあります。
- 幽霊の願いを聞いたことで元気な子どもを授かった「馬止めの石」、カッパの恩返しを伝える「河童の刀」、僧侶と蛇の修行を語る「養円寺の棲龍岩」など。民話伝承の地を訪ねる旅も面白いでしょう。



河童の刀の石碑



1月と5月、福井白山神社に奉納される、伝統の福井神楽

元

気深江 新旧住民笑顔であいさつ

深江校区は、おおらかで協力的な人が多く、お年寄りや子どもをたいせつにする、あいさつ運動や小学校の登下校の立哨などの取り組みも盛んです。

**懐深い自然と歴史**

深江校区は、二丈の中央部に位置し、ほとんどが平地となつています。

石器時代から縄文時代ごろまでは、海岸線が内陸部まで深く入り込んでいたと考えられ深い入り江という意味で「深江」と呼ばれたようです。

自然豊かな深江校区から南側を望むと「二丈」の町名の由来となった二丈岳を見ることが出来ます。鎮懐石八幡宮には、山上憶良の歌が刻まれた九州で最も古い万葉歌碑があります。春になると、境内は満開の桜で彩られます。

また、きれいに区画整備された水田で、米や麦が作られるほか、県下有数のブロッコリーの産地として、盛んに農業が行われています。

**たくさんさんの祭り**

深江校区は、多くの祭りがあります。1月は、山盛りのご

飯を豪快に食べて、五穀豊穡と厄よけを願う淀川天神社の「百々手祭」。

7月には、美しい海が自慢の深江海岸で、子ども水難よけと健やかな成長を願う「夏祭り」を開催。

また、5月から10月までは地引網が楽しめます。

8月の「川祭り」では、盆踊りや花火大会などが催され、多くの人でにぎわいます。10月は、大名行列さながらに列をなして街中を進み、海岸では大漁旗を掲げた漁船が舞う「深江神幸祭」を開催。

12月は、七福神の頭巾をかぶり、手探りで相手を探しながら相撲をとるユーモラスな、ふいご大祭の「目隠し女相撲」が松末五郎稲荷神社で開催されます。

きららの湯

- 二丈温泉「きららの湯」は、全国屈指のラドンを含む天然温泉。効能は、痛風や神経痛、高血圧症など。店内のお食事処「きらら庵」では、イカの活き造りをはじめ、定食や麺類など豊富なメニューがそろいます。また「産直きらら」では、地元の旬の野菜や魚を安く買えます。



ラドンが豊富なきららの湯



街中を大名行列さながらに歩く「深江神幸祭」